

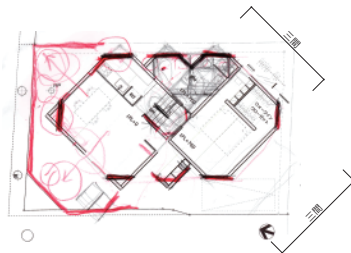
# 試論

ふたつの案を  
並行して  
検討する

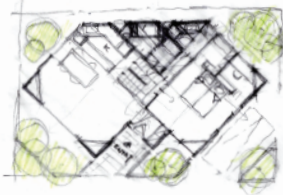
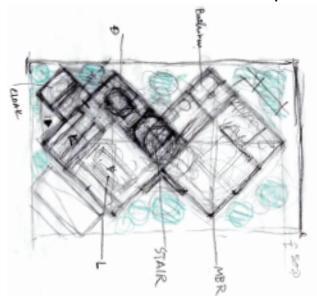
ひとつの方向性で何案も出すのではなく、別の方向性の2案を並行して検討している。異なるからこそ、双方の良し悪しがはっきりし、両案ともに育まれるという。

## B案

四隅に庭を配し、九間を45度振った平面構成



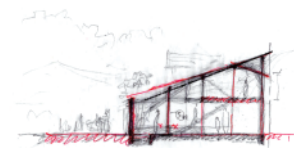
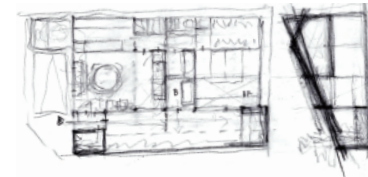
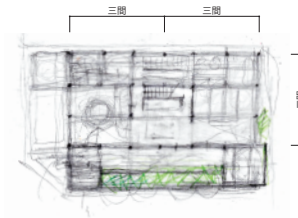
ふたつの九間（三間×三間）を45度振って、あいだをかみ合わせた構成。矩形の建物を45度振ることによって、矩形の二・三面が隅の庭と接することができる。



## A案

家の内と外の両方に顔をつくる、庭と塀

A案、B案ともに三間×三間の大きさの九間を、どう配置するかを検討したもの。A案では、ふたつの九間が並び、塀や縁と正対している。屋根の形式は、切妻と片流れを試みている。



## 定着

最終的にA案が採用されている。ただし、屋根は片流れに下屋（テラス部分）が取り付く構成。

